

第 203 回 日本知能情報ファジィ学会理事会議事録

日時：2014 年 11 月 8 日（水） 13:30～18:30

場所：関西大学千里山キャンパス 学術フロンティアセンター 2 階 F22 会議室
（〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号）

出席者：馬野（会長）、林（副会長）、中嶋（副会長）、秋山（賞選考）、乾口（将来構想）、
井上（会計）、工藤（大会事業）、徳丸（事業）、関（広報）、星野（電子化検討）、
前田（庶務、会誌）、和多田（事業監事）、安信（会計監事）

欠席者：佐藤（他学会連携）、三河（オブザーバ：編集委員長）

1. 前回議事録の承認（資料 203-0）

第 202 回理事会の議事録の確認を行い、承認された。

2. 理事会メーリングリスト報告済事項の確認

理事会メーリングリストで既に報告されている以下の事項の確認および報告がなされた。

(1) 第 1 回将来構想フォーラムの開催報告について（中嶋、乾口）（資料 203-11）

- ・中嶋副会長より、FSS2014（高知）の直後に開催された第 1 回将来構想フォーラムについて報告があった。フォーラムの議事録、出された意見、収支決算についても簡単に報告があり、開催は有意義であったとの総括がなされた。
- ・3 チームに分かれて深い議論ができ、学会アイデンティティを保つことが重要など多くの意見が出されたが、今後どのように議論を引き継いでいくかも検討する必要があるとのコメントがあった。
- ・馬野会長より、支部と研究部会を以前の形態に戻す作業は今期の理事会で行いたいとのコメントがあった。学会組織に関する内容は事業委員会マターなのでそちらで議論してもらい、今期中に理事会で結論を出してから総会で承認を得て、速やかに実施する方向でいきたい、との意見があった。そのためには、規程の改訂をはじめ、検討事項はたくさんあるとのコメントもあった。
- ・井上理事から今回のフォーラムに関する収支報告があった。これに関し中嶋副会長からは、今回の予算規模（25 万円程度）であれば、FSS の会期中のタイミングでやるのが良いとの意見もあった。

(2) 理事等推薦委員会立ち上げについて（前田）（資料 203-1）

- ・前田理事（理事等推薦委員兼務）より、理事等推薦委員会の進捗状況について簡単な現状報告がなされた。現在、選挙管理委員会（委員長：中島先生[大阪府大]）が組織され、役員選挙の公示を行ったところであることが報告された。
- ・馬野会長より、指名受付の締切が 12 月 25 日になっているが、これは理事等推薦規程に記載されている 2 ヶ月前に公示するという規則に反するため、1 月 10 日に締切を延期してはどうかとの意見が出された。これについて、前田理事から鬼沢委員長に期限修正依頼を行うことになった。学会誌 10 月号の発行が遅れているため、指名受付の締切延長のアナウンスは学会ホームページにのみ掲載すれば良いのではないかと意見もあった。

(3) 理事会だよりについて（馬野）（資料 203-2）

- ・馬野会長より、学会誌 10 月号の理事会だよりについて報告があり、特に意見は出されなかった。
- ・次回は SOFT-CR について関理事からの報告をメインにすることに決まった。

(4) 2014 年度入退会者について（井上）（資料 203-3）

- ・井上理事から、8～10 月末の会員移動についての報告があった。

(5) 学会会計報告について（井上）（資料 203-13）

- ・井上理事より、9 月次決算までの学会会計報告がなされた。会費収入については予算に対して 90% 程度、会誌関係収入については 40% 程度の達成率であることが報告された。

- ・井上理事より、FSS 際の発表原稿の印刷依頼があり、カラー原稿コピーの料金設定をしていなかったことが発覚したとの報告があった。これについては、事務局と相談して料金を決めるので一任してほしいとの意見が井上理事より出され、了承された。
- (6) 今年度学会賞紹介記事について (秋山) (資料 203-14)
- ・秋山理事から、学会誌に掲載する学会賞受賞者紹介記事についての原案が呈示され、全員で資料を確認し、修正を行った。
 - ・関理事より、学会賞に関連して、SCIS&ISIS2014 の韓国側の実行委員名を学会誌ホームページでも掲載すべきではないかとの意見が出された。これについて、掲載することで承認された。

3. 理事会メーリングリスト審議済事項の確認

理事会メーリングリストで既に審議されている以下の事項の確認と審議がなされた。

(1) シルバー部会について (林、星野、徳丸) (資料 203-4)

- ・林副会長より、FSS2014 後に将来構想フォーラムで出された意見を水本先生にお伝えしたところシルバー部会の発足に関する意見が出されたことが報告された。シルバー部会について、学会の主立った先生方に事前調査したところ、一部を除いてほぼ賛同の意見が得られたことも報告された。
- ・前田理事からは、シルバー部会で何をするかを理解しないまま賛同ができない先生もおられるので主にどのようなことを担当していただくかという大まかなミッションを決めて依頼したほうが賛同を得やすいのではないかとの意見が出された。
- ・馬野会長からは、研究部会ではなく、委員会にしてはどうかとの意見があった。シルバー部会を発足させることになったら、委員会規程も新たに作る必要があるとの指摘もあった。これについては了承され、林副会長が委員会にする方向で水本先生と再度相談することになった。

(2) 2014 年度名誉会員候補者リストについて (林) (資料 203-5)

- ・林副会長より、2014 年度名誉会員候補者についてリスト (会議終了後回収) をもとに審議依頼が出された。

(3) SNS の名称変更について (星野、井上、林) (資料 203-6)

- ・星野理事より、カラーチップスから SNS 名称変更作業に関する費用が 10 万円という見積りが届いたとの報告があった。作業を依頼した場合、1～2 週間程度はかかる模様。この作業に関し、SNS と学会ホームページにおいて「SNS」と「マルチコア」をすべて取って、他の用語に名称変更する作業のみを依頼することがまず決定した。星野理事は、SNS と共にマルチコアも同時に名称変更を依頼してほぼ同じ費用になるよう交渉することになった。
- ・SNS については、「学会会員情報管理システム」ではなく、「会員情報管理システム」と置き換えることになった。これで依頼を行なうことが確認された。また、マルチコアについては「研究分野」と置き換えられるかどうかを検討することになった。
- ・井上理事から、来年度の会費請求書 (毎年 12 月に会員に届く) に「学会 SNS」という文言があるので、現在、事務局にペンディングをしてもらっているとの報告があった。これについて、今年度は時間的余裕がないので、「学会 SNS (会員情報管理システム)」と併記することになった。

(4) 電子化のこれからの課題洗い出し (星野) (資料 203-7)

- ・星野理事より、電子化に関する各種サービスの課題洗い出しについての検討結果の報告があった。
- ・会員登録サービスについては、登録時の生年月日入力強制入力の場合の費用が 30 万円もかかるので、文言追加だけで済ませたほうが良いこと、メールサービスは現在 gmail 経由にしているが、google のサーバに会員のメールが残っているので、セキュリティ上、従来のような学会サーバ形式に戻したほうが良いこと、FSS 管理システムは軽微な変更もカラーチップスに依頼しないと行けないので実質できないこと、などの意見が星野理事から出された。
- ・星野理事より、現在、ユーザ (SNS サイトのアカウント取得) と学会員が同一ではないことが問題

であるとの指摘があった。FSSに参加した学生が作ったSNSアカウントは3ヶ月で切れるので論文投稿時には期限が切れるため、現在は、FSSまで個別に期限を延ばしている。この作業を軽減するため、アカウントの期限を延長してはどうかとの提案がなされた。

- これについて馬野会長より、準会員になれるのはFSS参加者のみであり、SNSアカウントの3ヶ月期限を年度末に延長してはとの提案があり、了承された。また、2月号の報告から準会員の情報は掲載しないことになった。
- 年会費の支払いには現在のシステムでは単年度しか請求書作成できないが、これまでどおり事務局で対応してもらうことになった。
- Paypalはマニュアルがあった方が良くと思われるとの星野理事のコメントがあった。また、国際会議も現在のシステムでは対応は難しく、マイクロソフトCMSを使うのが一般的であること、マニュアル作りを今後やっていったほうが良いこと、などが星野理事から報告された。
- 関理事から、評議会のメーリングリスト(ML)を作成して、広報委員会で管理してほしいという要請が事務局からあったことが報告された。このような追加のMLを現状のシステムで利用できるかどうかについて、星野理事からはpost01などの名前でMLメンバーを登録できるが、承認が面倒であること、Googleでグループを作ってメールを流す方法もあること、Googleの場合、ドキュメントもアップできるので便利であるとの意見があった。評議会MLはこれで構築することが承認された。

(5) FSS & JNNS 全国大会の進捗状況について (工藤、佐藤、林) (資料 203-8)

- 工藤理事より、表記大会の進捗があまり良くないとの報告がなされた。10月中旬に引き継ぎ会の日程調整を関東支部(橋山先生、岩田先生)と行っていたが、作業が現在ストップしており、これから進める予定のため、まだ引き継ぎができていないとの現状報告があった。
- 通常、ポスターとロゴを年末までに作らないと間に合わないが、神経回路学会のJNNS2015のほうは着々と進んでいるとの報告が林副会長からあった。そのため、関東支部には、ロゴ、HP、キャチフレーズをまず進めるよう督促することに決まった。

(6) 学会誌の外部販売 (三河) (資料 203-9)

- 三河編集委員長の代理で前田理事より、学会誌の外部販売についての審議提案がなされた。これについて馬野会長から、コンピュータ将棋は情報処理学会がメインであり、ファジィ学会のイベントではないが、もし外販するなら増刷分の学会誌だけでもSOFTの入会情報(宣伝)も入れておくほうが良いのではないかと意見が出された。本件の学会誌の外販については承認された。

(7) 評価委員会専門委員の候補者の推薦について (前田) (資料 203-10)

- 前田理事から、事務局経由で打診のあった表記案件について説明があったが、特に意見が出されなかった。そのため、事務局に学会メーリングリストに期限を決めて本件の推薦依頼を流してもらい、会員から推薦がなければ、推薦者なしで依頼元に回答するよう伝えることになった。

(8) 若手研究会の設立について (徳丸) (資料 203-12)

- 徳丸理事より、学生部会ANGLE代表(東工大廣田研D3柴田氏)からの提案として、現在のANGLEを関東支部の下部組織にしたいとの依頼があったことが報告された。ANGLE九州のように支部直下に所属する形態にしたいとのこと。
- これについて、ANGLEは全国で一つ大きな組織があるべきで、それぞれ支部単位でローカルなANGLEを作るのは自由であるが、全体の関係を把握できるよう整理して、現状調査することが重要であるとの意見が出された。
- 馬野会長からは、ANGLEの組織の中で支部との連携は自由に行っても良いが、最近サイト会員があるため、学生会員の情報が正確に把握できない点で問題であるとのコメントがあった。
- 林副会長からは、まずはリーダーを決めるところから始めるべきであるとの意見が出された。

(9) SOFT-CRについて (関) (資料 203-15)

- 関理事より、ソフトウェア公開サービスの利用規約を見直したことが報告された。利用規約の文面については馬野会長が添削されたものを全員で確認した。これについて特に新たな修正箇所の指摘

はなかった。

- ・ 関理事から、SOFT-CR のすでに提出されたソフトウェア等を学会 WEB 上で公開するための説明記事を書いてほしいとの依頼が理事全員にあった。

4. 次回理事会について

- ・ 次回理事会は、1月24日（土）に関西大学で開催する方向で調整することが決まった。